

目標達成計画

作成日：平成 26年 1月 22日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1.12	意見交換やミーティング等の際に、上位職からの一方通行の意思伝達が多く、深まった議論も無く話し合いが十分に出来ていないため、職員の意思統一が図れていない事がある。	職員同士で口頭での活発な議論が出来るようになる。また結論や伝達事項が文書でも正確に伝達し合えるようになる。	ミーティングや申し送り時はもちろんの事、常に自分の意見を言う機会を作る。人前で話をすることや自分の考えや疑問を発表をすることを習慣化する。	12ヶ月
2	1.18. 21.23 .38	ご利用者優先ではなく、業務優先になりがちな場面が見受けられており、ご利用者様とのコミュニケーションが十分に取れていない事がある。	ホームの理念である「他人だけど、家族のように笑って過ごせる…」を理念だけではなく、実効あるものにしていく。	職員だけでやるのではなく、ご利用者も関与してもらいようにする事を習慣化する。レクリエーションの内容を充実させる。	12ヶ月
3	13.14	介護技能や知識、マナー等の介護の基礎力が弱く、現場での考え方や応用力が発揮できない。	介護の基礎力を高めることで、より高度なケアを実践し、問題が生じた際にも臨機応変に対応できるスキルを身に付けることで、経験の浅い職員さんは余裕が持てるようになってもらう。	各々自己の不足するスキルに応じて研修を受講したり、職員同士でも先輩後輩間で助言・指導を行い合いながら、介護の基礎力を高める。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。